

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東住吉区
学 校 名	北田辺小学校
学校長名	桐山 佳晃

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・北田辺小学校では、第6学年 54名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校児童の学力調査結果では、国語・算数・理科の平均正答率が全国平均を上回り、安定した学力が確認された。特に高い成果が見られたのは次の通り。

- ・国語 「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「A 話すこと・聞くこと」。
- ・算数 「B 図形」、
- ・理科 「A エネルギーを柱とする領域」

また、無解答率は全教科で全国平均より低く、児童が積極的に問題に取り組んでいる様子が見えられます。日頃の学習の成果が着実に表れている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「話すこと・聞くこと」や漢字の使用において全国平均を大きく上回る成果が見られた。一方、「我が国の言語文化に関する知識」や「内容のまとまりで段落をつくったり、文章の構成を考える」ことでは全国平均を下回り、新たな課題が見えてきた。

〔算数〕

「数と計算」「図形」領域において全国平均を大きく上回る成果が見られ、基礎的な技能が定着していることがうかがえる。一方、「伴って変わる二つの数量の変化と関係を捉える」ことでは全国平均を下回り、新たな課題が見えてきた。

〔理科〕

全ての領域において全国平均を上回る成果が見られ、特に実験や観察に基づく問題での理解が深まっている。一方、記述式問題では課題が残り、条件や結果から論理的に表現する力の育成が今後の課題である。

質問調査より

質問事項5～9、27では多くの項目で大阪市・全国を上回るか同程度となった。このことから、児童の自己肯定感の高まりがみられることや将来、社会へ貢献することを意識している児童が多いことがわかる。一方、否定的な回答も一定数あり、そういった児童へのきめ細やかな児童理解が必要である。

質問事項33～69では多くの項目で大阪市・全国を上回るか同程度となった。このことから、児童が主体的に学習に取り組むことに意欲的に取り組む様子がみられる。

質問事項24より、読書が好きな児童が大阪市・全国を大きく上回った。

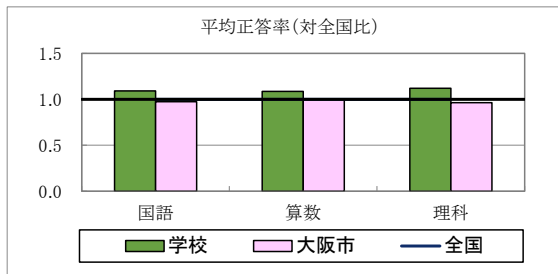
今後の取組(アクションプラン)

児童が自ら課題を見つけ、仲間と対話しながら深く学ぶ「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。そのために、教科横断的な探究活動や、意見を交わす場を日常的に設けることが重要となる。また、互いの考えを尊重しながら議論できる学級づくりを進め、安心して発言できる環境を整える。論理的思考力だけでなく表現力の育成にも力を入れ、学びを言語化する力を高めることで、学力の向上とともに、より豊かな学びの場を築いていく。

【 全体の概要 】

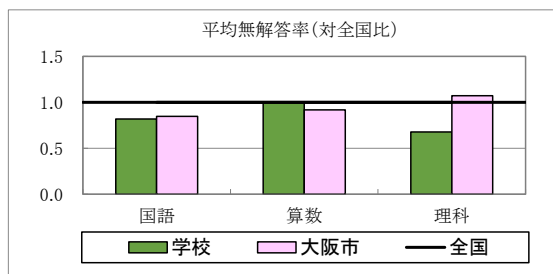
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	73	63	64
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	2.7	3.6	1.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



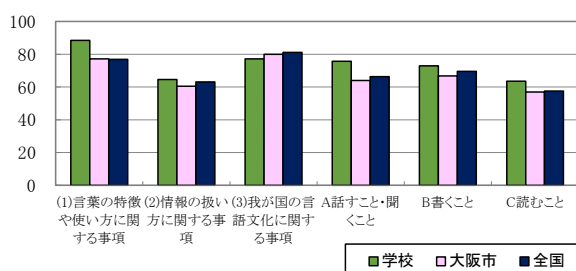
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	88.5	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	64.6	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	77.1	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	75.7	64.0	66.3
B 書くこと	3	72.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	63.5	56.9	57.5

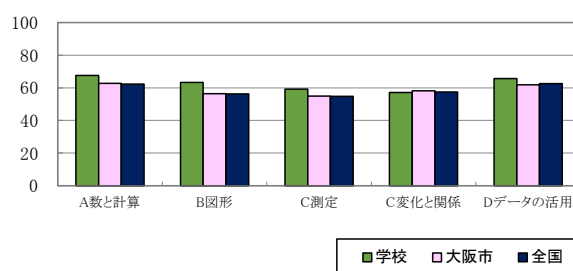
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	67.6	62.7	62.3
B 図形	4	63.3	56.4	56.2
C 測定	2	59.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	57.1	58.2	57.5
D データの活用	5	65.7	61.9	62.6

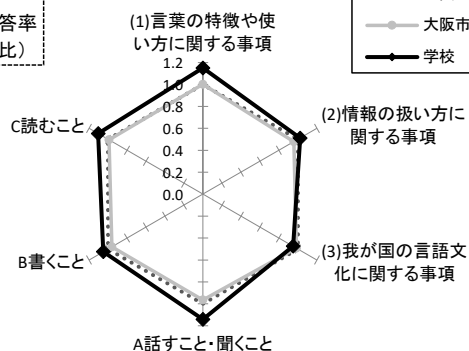
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



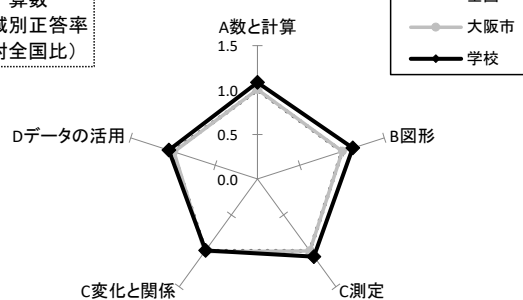
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

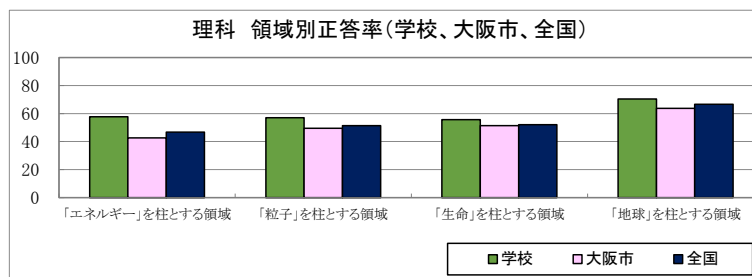


算数
領域別正答率
(対全国比)

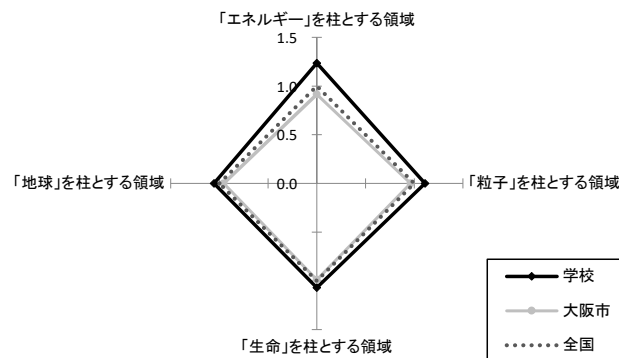


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	57.7	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	57.1	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	55.6	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	70.4	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



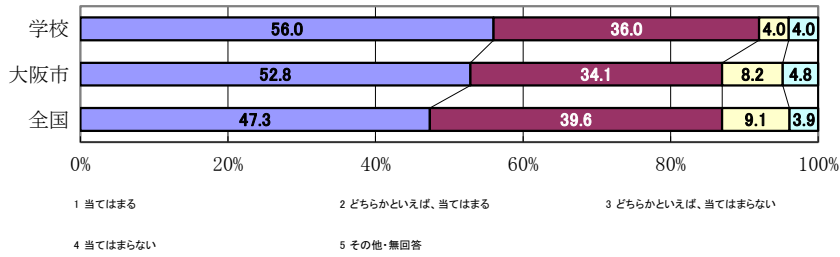
児童質問より

質問番号

質問事項

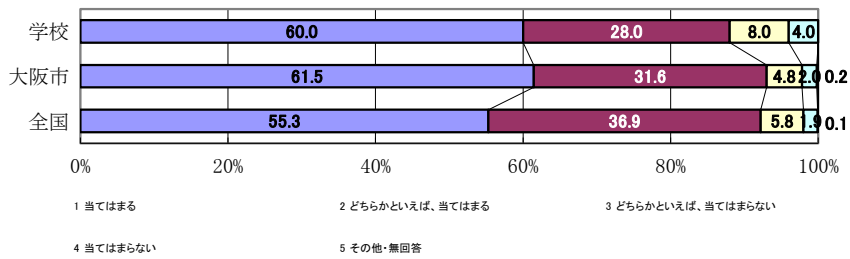
5

自分には、よいところがあると思いますか



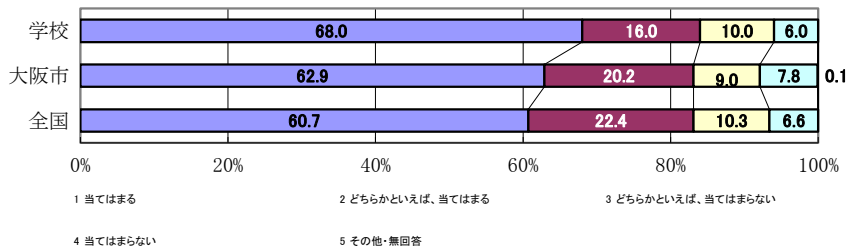
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



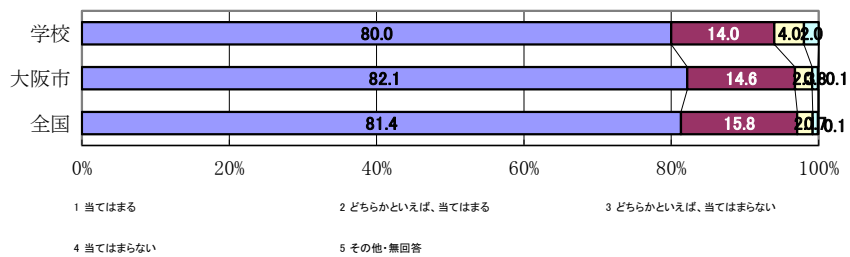
7

将来の夢や目標を持っていますか



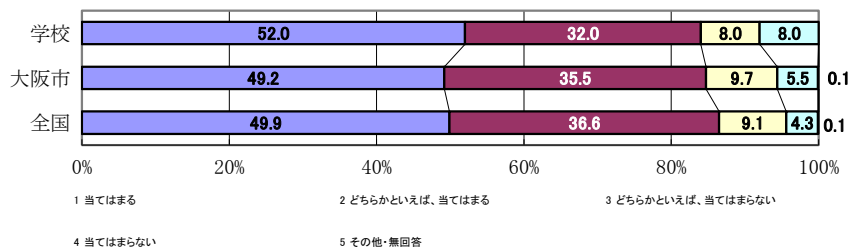
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



児童質問より

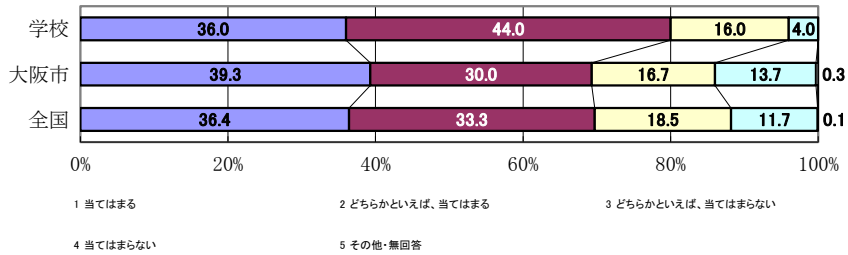
質問番号

質問事項

24

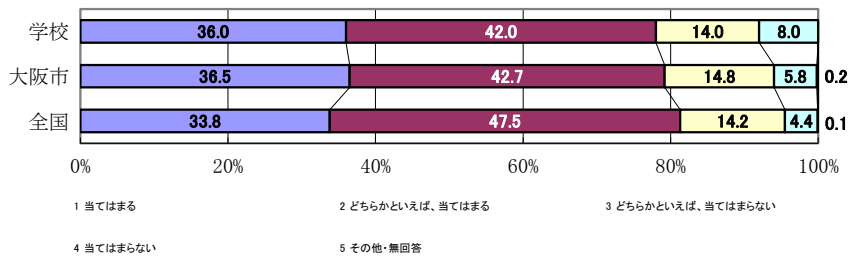
読書は好きですか

1 2 3 4 5 6 7 8



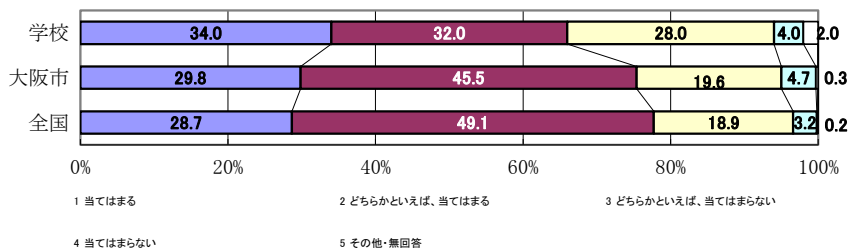
27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



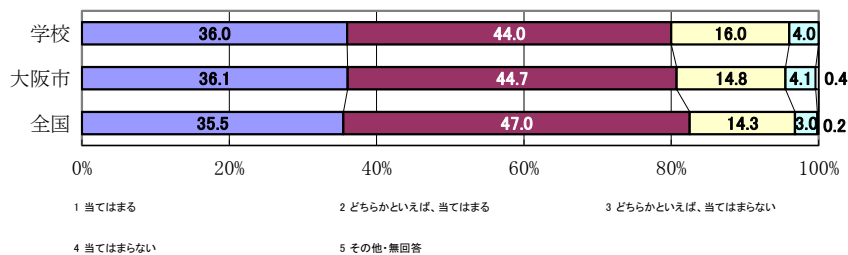
33

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



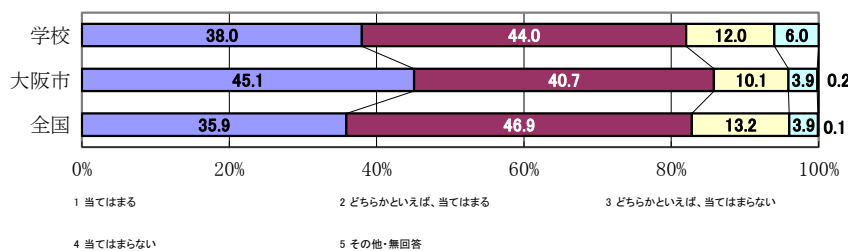
37

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



46

国語の授業の内容はよく分かりますか



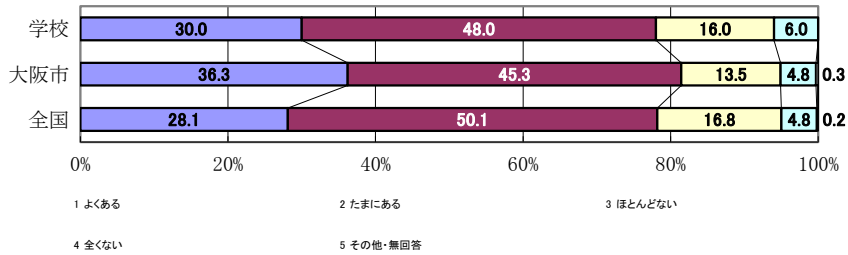
児童質問より

質問番号

質問事項

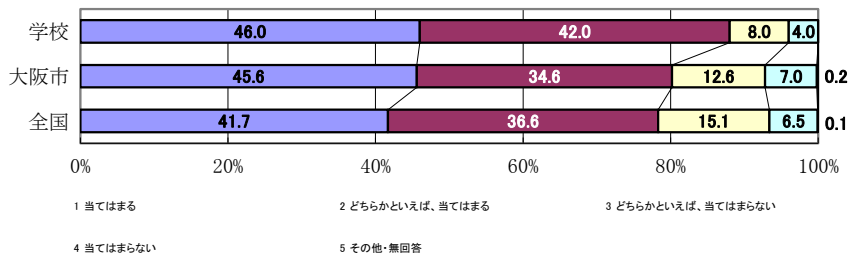
48

国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか



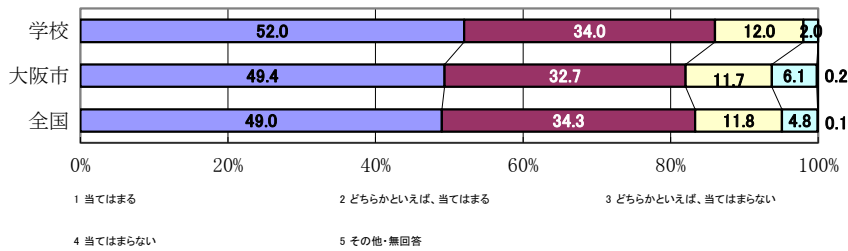
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



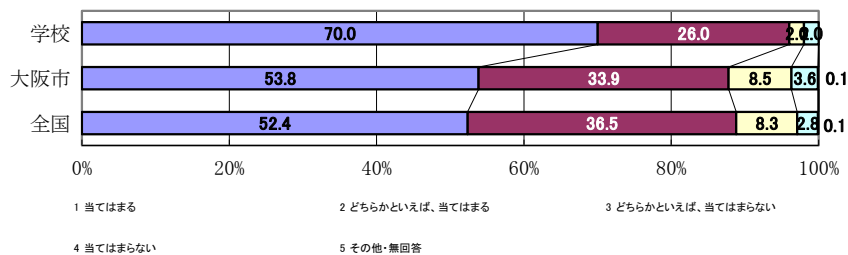
56

算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか



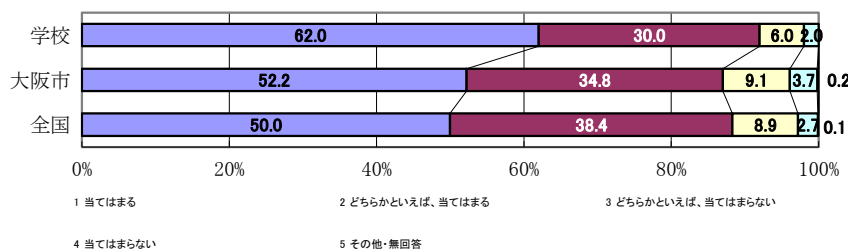
62

理科の授業の内容はよく分かりますか



69

理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか



学校質問より

質問番号

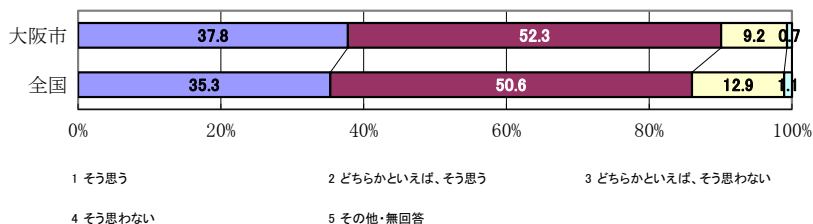
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



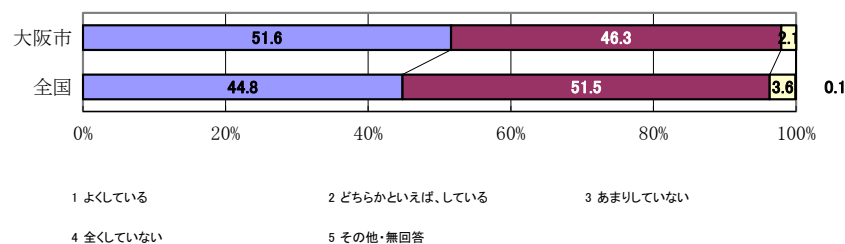
学校 「そう思う」を選択



17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

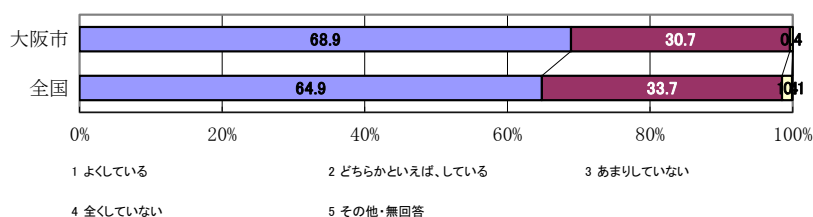
学校 「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

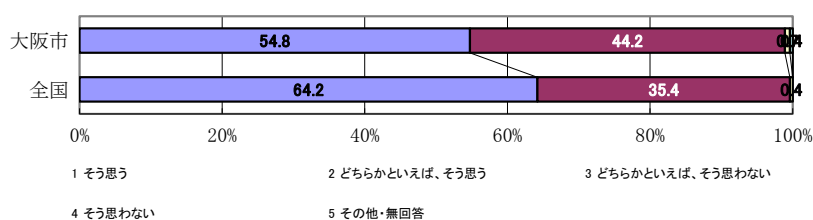
学校 「よくしている」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

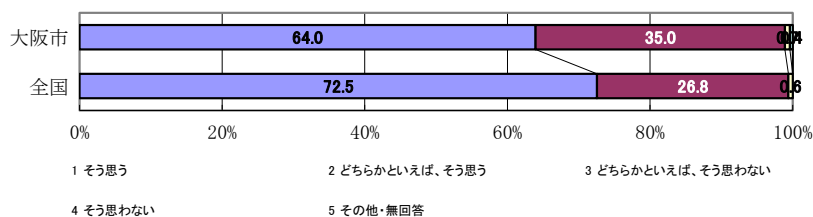
学校 「そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

学校 「そう思う」を選択



学校質問より

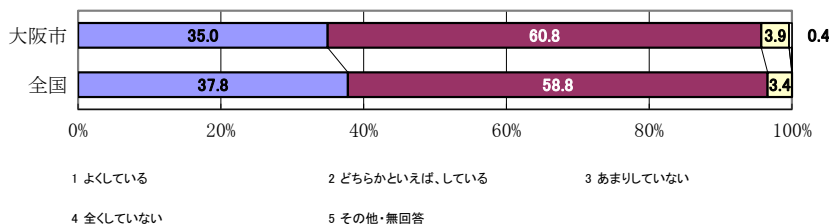
質問番号

質問事項

39

調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

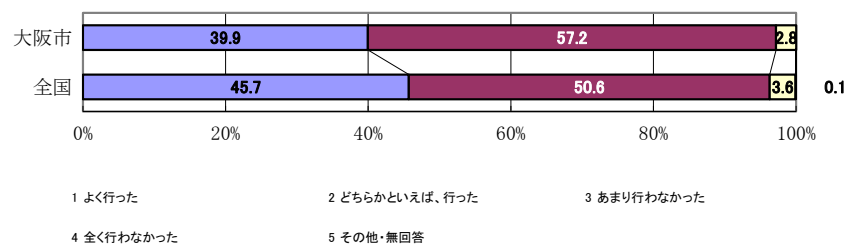
学校 「よくしている」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかななどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

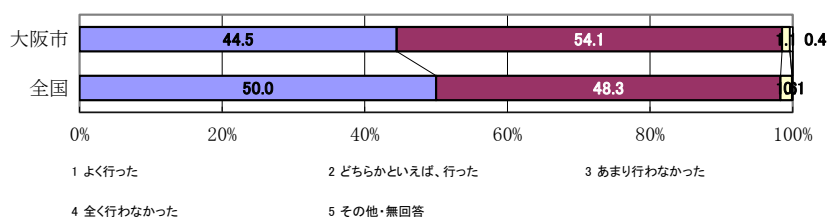
学校 「よく行った」を選択



52

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか

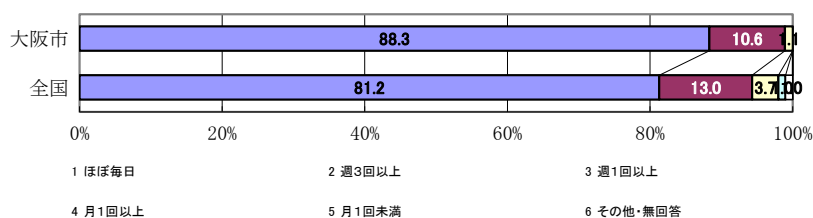
学校 「よく行った」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択

